

勉強会について

- 鈴蘭台地域は高齢化していて、地元の人が集まって勉強会を開くのは難しいだろう。
- 今後は今の所有者の子供達に代替わりするので、子供達世代の意見も聞く必要があると思うが、鈴蘭台周辺に住んでいる人は少なく、勉強会に参加するのが難しいだろう。
- 遠方に住んでいるため、勉強会を頻繁にされても参加できない。

→ 行政が一方的に進めるのではなく、鈴蘭台幹線沿道周辺のみならずと一緒と考えていくためにも、勉強会のような場は必要と考えています。なお、勉強会に参加できない方々とも情報を共有できるように、勉強会での検討内容についてご報告します。

鈴蘭台幹線の整備時期・移転について

- 3 年後に整備に着手する予定とのことだが、すぐに移転と言われても困る。
- 移転となる場合は、どのくらい前に知らされるのか。
- 部屋を貸しているが、入居者には移転になるかもしれないと今から説明しておかないといけないか。
- 長年住んでいる土地なので、本当は移転したくない。

→ 鈴蘭台駅前の再開発事業が平成 32 年 3 月末に完了予定なので、その後、鈴蘭台幹線の整備に着手することを目標にしていますが、まだどのように整備を進めていくのかが決まっていないため、具体的な移転時期についてはお伝えできないのが現状です。

今後、勉強会の内容や整備の検討内容などの進捗状況は、みなさまにニュースなどでお知らせします。事業着手の目途がついた段階で、移転対象となる方々には個別にお話させていただきます。

鈴蘭台幹線の工事について

- 道路の工事で家が傾く等の問題が発生しないのか心配している。工事完了後、家屋に影響があれば、補償してくれるのか。
- 家の前に大きな道路ができると、道路の騒音が心配だ。防音の措置はしてもらえるのか。

→ 一般的に工事を行う場合には、近隣の家に影響がないよう施工します。家に近接して工事を行う場合には、事前に家屋調査をさせていただくこともあります。

道路の騒音については基準があり、一定の基準を超える場合には、騒音を減らす舗装を使用するなどの対策を講じます。

工事についての詳細は、道路整備が具体的に決まった段階で説明させていただきます。

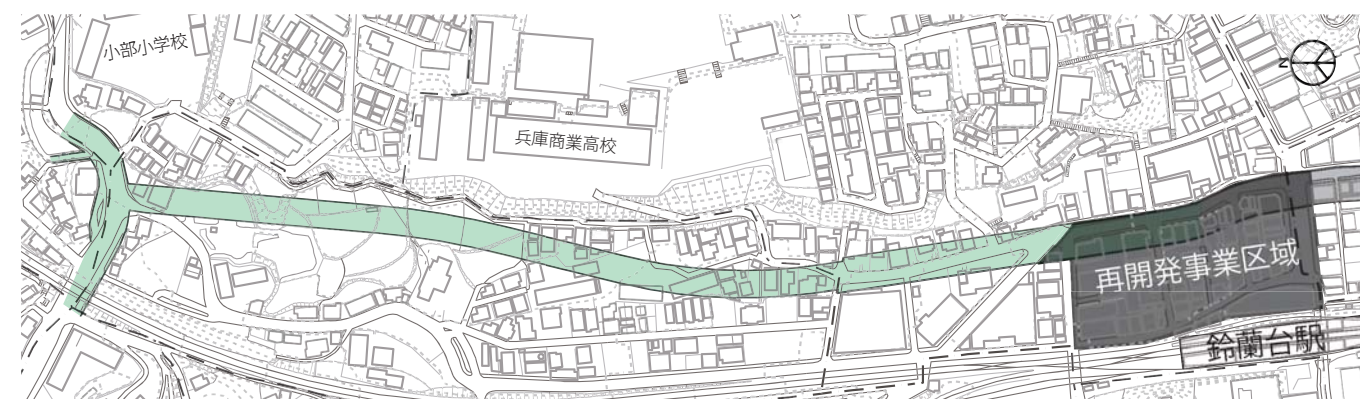
たくさんのご意見をありがとうございました。

いただいたご意見を受け止め、今後の鈴蘭台についてみなさまと一緒に考えていきたいと思っております。今後ともご協力よろしくお願いいたします。

鈴蘭台幹線北区間の整備について

平素は、神戸市政にご協力いただき、ありがとうございます。

神戸市では、これまで鈴蘭台駅前の再整備を進めてきており、平成 32 年 3 月末に駅前の再開発事業が完了し、引き続き鈴蘭台幹線の北区間（下図参照）を整備する予定となっています。



← 鈴蘭台幹線北区間（鈴蘭台駅～小部小西交差点） →

アンケート調査の報告会を開催しました。

鈴蘭台幹線周辺のまちづくりに関するアンケート調査（平成 28 年度に実施）の結果について、平成 29 年 5 月 18 日（木）、21 日（日）に報告会を行いました。両日あわせて 40 名を超えるみなさまにご参加いただき、今後の整備について貴重なご意見をいただきました。

なお、報告会でいただいたご意見については、2～4 ページ目をご覧ください。



問い合わせ先

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6 丁目 5 番 1 号

神戸市 住宅都市局 計画部 まち再生推進課

本田・瀧野 TEL | 078-322-6634 FAX | 078-322-6096

神戸市 住宅都市局 市街地整備部 市街地整備課

森下・西田 TEL | 078-322-5525 FAX | 078-322-6098

みなさまからいただいたご意見・ご質問と市の考え方について、ご報告します。

●：みなさまからのご意見・ご質問

→：市からの回答

アンケート調査について

●「その他」と回答している人の具体的な内容を教えてください。

→ 以下のようなご意見をいただいています。

- ・地域コミュニティの現状
「空家が増えてきた」、「駅前再開発の規模が小さい」、「全国的に高齢化が進んでいる」など
- ・都市基盤の現状
「鈴蘭台地区の通過交通に比べて道路の整備が進んでいない」、「歩道が狭くて歩きにくい」、「道路が狭いことで事故が少ない」など
- ・土地や建物の移転・売却など
「アンケートだけでは具体的なことが分からないので判断ができない」、「迷っている」
「アパート経営者は入居者のこともあるので、答えられない」、「鈴蘭台幹線の整備に反対」など
- ・鈴蘭台幹線整備の方向性
「道路を整備すると車が増える」、「まちづくりの具体性を教えてください」、
「全国的にも少子高齢化しており、整備しても人口が増えないのではないか」など

●「土地所有者の今後の意向について」の設問で、所有する土地が鈴蘭台幹線に抵触する方、抵触しない方はそれぞれ何人いるのか。

→ 抵触する方が 41 名、抵触しない方が 75 名です。

※ 抵触する土地、抵触しない土地の両方をお持ちの方には、その両方についてアンケートの回答をいただいているので、抵触する方と抵触しない方の合計人数はのべ人数（116 名）となっています。

● アンケートの設問がまちづくりの方向へ誘導しているように感じる。

● まちづくりをするには土地を出し合って道路や公園を作る必要があると思うが、アンケートの設問にその負担について書かれていない。

→ 今回のアンケートは、まちづくりを誘導するために実施したものではなく、鈴蘭台幹線沿道周辺の土地を所有していらっしゃる方がどのようなお考えをお持ちなのかを把握するために実施しました。このアンケート結果を受けて、「まちづくりを行う」と決めていません。

今後、いただいたご意見を参考にして鈴蘭台幹線に抵触する方々やその周辺の方々のご意向をお伺いするとともに、鈴蘭台幹線をどのように整備していくか、理解を深める場を作り、鈴蘭台幹線沿道周辺のみなさまと協議を重ねながら進めていきたいと考えています。

鈴蘭台幹線の整備について

- 鈴蘭台幹線の整備は決まったことなのか。
- 都市計画道路の図面は確定しているのか。

→ 鈴蘭台幹線は昭和 39 年に都市計画決定した都市計画道路です。

平成 20 年には周辺の状態を踏まえて地域のみなさまと情報交換を行い、縦覧、都市計画審議会への付議等の手続きを経て、地域の現状に合わせて住宅地部分については幅員を 20m から 16m に変更する都市計画決定を行いました。

この都市計画決定の内容を示す道路の図面は、神戸市役所本庁舎 2 号館 4 階に設置している「都市計画情報案内システム（ゆーまっぷ）」で閲覧・印刷（印刷は有料）できます。

また、神戸市のホームページからも図面の閲覧ができるようになっています。詳細は下記「神戸市情報マップ」をご確認ください。

※ 神戸市情報マップ <http://opengis.city.kobe.lg.jp/>

● 幅員の狭い道路が多く、自動車・歩行者ともに危険なので、早く道路整備をしてほしい。

● 鈴蘭台幹線の全区間を同時に整備できないのか。

→ 再開発ビルや駅前広場が完成することで駅前へのアクセスが集中することが想定されるので、鈴蘭台地区全体の中で鈴蘭台幹線の整備について検討することとなりました。

限られた予算の中で長い延長の道路整備を進めるとなると、完成までに時間を要しますので、比較的早期に整備効果が発現できる北区間から道路整備に着手したいと考えています。鈴蘭台幹線の南区間（鈴蘭台駅以南）の事業着手時期については、北区間の完成時期を見据えて検討したいと考えています。

● 鈴蘭台幹線や駅前広場の整備の話は聞いていたが、鈴蘭台幹線周辺のまちづくりの話は突然するのはおかしいのではないのか。

● まちづくりをするのであればもう一度アンケートをとってほしい。

● まちづくりをすることはもう決まったのか。

● この 3 年でワークショップをしてまちづくりを決めるのか。それとも、鈴蘭台幹線を作ってからまちづくりをするのか。

→ 今回のアンケート調査の結果の中で、今後まちづくりをしていった方が良いと回答した方が 7 割弱いらっしゃったため、今回の報告会では結果報告に併せてまちづくりの方法についても説明しました。

まちづくりを行うと決まっているわけではなく、今後意向を聞きながら、道路だけを整備するのか、道路整備とあわせてまちづくりをするのか、鈴蘭台幹線沿道周辺のみなさまと一緒に検討したいと考えています。

● 兵庫商業高校、北区役所の跡地も含めて、まちづくりを考えるのか。

→ 兵庫商業高校、北区役所の跡地をどう活用するかについては、現時点では具体的な計画はなく、今後、鈴蘭台幹線の整備の検討と並行して考えていく予定です。